

5月9日は「アイスクリームの日」

アイスクリーム白書 2010

いろんなシーンでアイスを選ぶ
“とりあえずアイス族”が増殖中!
 日常に広がる「とりあえずアイス」なシーン



社団法人 日本アイスクリーム協会では
 1997年より一般生活者を対象にアイスクリームに関する意識調査を実施し
 その結果を「アイスクリーム白書」としてまとめ、毎年発表しています。
 今回は、日常生活におけるアイスを食べるシーンについての調査を行いました。
 3人に1人は「2~3年前と比べアイスを食べる回数が増えた」と答え、
 以前に比べアイスをよく食べるようになった人が増えていることがわかりました。
 また、「2010年夏に、食べる機会が増えたお菓子や飲み物」を上げてもらうと、
 2人に1人が**“アイスクリーム”**と答え、記録的猛暑をきっかけに
 アイスクリームを食べるシーンがより広がっていることが伺えます。
 日本アイスクリーム協会では、日常生活のさまざまなシーンでアイスを食べる彼らを
“とりあえずアイス族”と命名し、彼らの実態を探ってみます。

企画調査	“とりあえずアイス族”とは? アイスクリーム喫食機会の変化と喫食シーン	1p
	2010年夏、“とりあえずアイス族”さらに増殖! アイスクリーム喫食機会増加要因	2p
	若者世代の、“とりあえずアイス”なシーン	3p
	オトナ世代の、“とりあえずアイス”なシーン	4p

定点調査	定点調査① デザート編	5p
	定点調査② 喫食・購入編	6p
	定点調査③ 好感度・食べ方編	7p

- 調査対象 市販のアイスクリームを1年以内に自分で購入して食べた10代~60代の男性300名 女性300名 合計600名 各世代とも男女各50名ずつ
- 調査時期 2010年10月29日(金)~11月2日(火)
- 調査方法 インターネット調査

社団法人 日本アイスクリーム協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 乳業会館

<http://www.icecream.or.jp/>

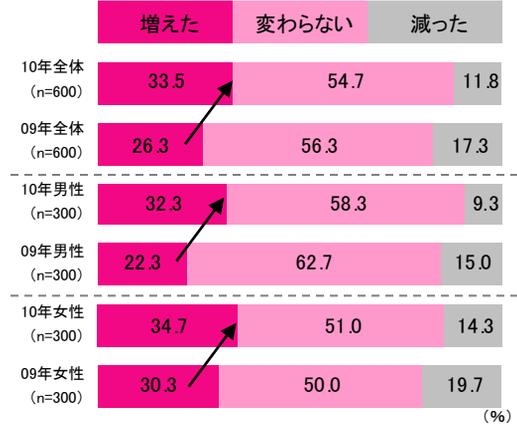
この資料に関するお問い合わせ 渡部、境 Tel.03-3264-3104

3人に1人(33.5%)はアイスクリームを食べる回数が増加 いつでもどこでも、アイス志向する“とりあえずアイス族”増殖中！

■増殖する“とりあえずアイス族”とは？

今回の調査で、日常生活のいろいろなシーンでアイスクリームをよく食べる“とりあえずアイス族”が出現していることがわかりました。まず彼らの特徴は、以前に比べてアイスをよく食べるようになっていくこと。2～3年前と比べアイスを食べる回数の変化を聞くと、3人に1人は「増えた」(33.5%)と答え、去年(26.3%)よりもその割合は増えています。男女ともに増えています、特に男性では22.3%から32.3%と10ポイントも増加しています。[グラフ1]

[グラフ1]アイスを食べる回数の変化



■湯上がりアイス族、飲んだらアイス族、ナイトキャップアイス族etc… いろんなシーンのアイス族

次に、シーン別に食べたいお菓子や飲み物を聞くと、アイスクリームは「お風呂のあと」(45.2%)では第1位、「お酒を飲んだあと」(14.0%)では第2位に選ばれており、「寝る前」「帰り道」「仕事の合間」など日常生活のいろいろなシーンにも幅広く登場しています。アイスクリームは、日常生活シーン全11シーン中、8シーンで10位以内にランクインしており、「コーヒー・紅茶・ココア」に次ぐ高い順位です。このことから、アイスクリームが特別なシーン限定のスイーツではなく、どんなときにもよく合い、みんなが大好きな便利で重宝する存在となっていることがわかります。[表1]

お酒の席では「とりあえずビール」というセリフをよく聞きますが、アイスクリームは日常生活におけるビールのような存在と位置づけられそうです。このことから、日常生活で「とりあえずアイスで…」を志向する人たちを“とりあえずアイス族”と命名し、彼らの“とりあえずアイス”な実態を探ってみました。

[表1]シーン別 食べたいお菓子や飲み物ランキングTOP10(複数回答)

日常生活シーン11項目中8項目を記載

順位	お風呂のあと (%)	お酒を飲んだあと (%)	夕食の時 (%)	寝る前 (%)
1位	アイスクリーム 45.2	機能性飲料・スポーツ飲料 15.4	ビール/発泡酒 / 新ジャンル(第3のビール) 42.7	牛乳(白) 12.2
2位	機能性飲料・スポーツ飲料 30.2	アイスクリーム 14.0	ビール以外のアルコール飲料 36.0	ビール以外のアルコール飲料 12.2
3位	ビール/発泡酒 / 新ジャンル(第3のビール) 28.3	スナック菓子 9.6	果物 34.8	機能性飲料・スポーツ飲料 11.7
4位	炭酸飲料 26.2	コーヒー・紅茶・ココア 9.6	ケーキ・シュークリーム等 15.7	コーヒー・紅茶・ココア 8.8
5位	果汁飲料・ジュース 21.3	果汁飲料・ジュース 8.6	コーヒー・紅茶・ココア 14.0	ビール/発泡酒 / 新ジャンル(第3のビール) 8.3
6位	ビール以外のアルコール飲料 19.7	炭酸飲料 7.6	アイスクリーム 11.5	アイスクリーム 6.3
7位	牛乳(白) 16.3	ビール以外のアルコール飲料 5.6	プリン 10.8	乳酸菌飲料 6.2
8位	乳飲料 16.2	果物 5.2	ヨーグルト 9.7	炭酸飲料 5.7
9位	乳酸菌飲料 14.8	せんべい・あられ 4.8	炭酸飲料 7.8	果汁飲料・ジュース 5.3
10位	果物 10.8	チョコレート 4.8	和菓子 7.3	ヨーグルト 4.8
順位	(外出からの)帰り道 (%)	おやつの時 (%)	勉強や仕事、家事の合間に (%)	小腹がすいた時 (%)
1位	キャラメル・キャンディー 27.0	ケーキ・シュークリーム等 66.2	チョコレート 53.3	ビスケット・クッキー・クラッカー 58.2
2位	機能性飲料・スポーツ飲料 15.5	和菓子 61.3	キャラメル・キャンディー 42.5	せんべい・あられ 52.8
3位	コーヒー・紅茶・ココア 15.3	スナック菓子 59.0	コーヒー・紅茶・ココア 38.7	スナック菓子 50.2
4位	炭酸飲料 15.2	ビスケット・クッキー・クラッカー 55.8	ビスケット・クッキー・クラッカー 27.5	チョコレート 46.7
5位	チョコレート 13.7	せんべい・あられ 53.3	スナック菓子 22.7	菓子パン・ドーナツ 45.0
6位	果汁飲料・ジュース 12.2	チョコレート 52.3	炭酸飲料 22.7	キャラメル・キャンディー 30.2
7位	アイスクリーム 10.8	プリン 48.2	せんべい・あられ 21.2	ケーキ・シュークリーム等 30.0
8位	菓子パン・ドーナツ 6.2	アイスクリーム 43.3	果汁飲料・ジュース 20.2	和菓子 28.5
9位	乳飲料 6.2	コーヒー・紅茶・ココア 41.0	アイスクリーム 18.7	プリン 25.7
10位	乳酸菌飲料 5.2	菓子パン・ドーナツ 37.5	機能性飲料・スポーツ飲料 17.7	アイスクリーム 22.0



2010年夏、記録的猛暑で“とりあえずビール族”より“とりあえずアイス族”が増殖？！

“とりあえずアイス族”は、寒くなっても「週1」アイスが半数以上(52.5%)

■記録的猛暑で“とりあえずアイス族”がさらに増殖！

600人中284人と、2人に1人が“とりあえずアイス族”に

記録的な猛暑だった2010年夏。2009年と2010年の家計調査※を比較すると、「アイスクリーム・シャーベット」の1世帯当たりの平均支出金額は7月で113%(09年:1072円→10年:1211円)、8月で119.4%(09年:1215円→10年:1451円)と増加しており、データからも2010年夏はアイスクリームが多く食べられていたことが伺えます。

2010年の夏に食べる機会が増えたお菓子や飲み物をあげてもらうと、1位「アイスクリーム(クリーム系)」(38.0%)、2位「アイスクリーム(氷菓系)」(30.5%)、3位「炭酸飲料」(25.3%)の順でアイスクリームが飲料やビールなどのアルコールを押さえ1位・2位を独占。アイスを食べる機会が増えた人は600人中284人と約半数(47.3%)にも達し、2人に1人が猛暑をきっかけにアイスをよく食べる“とりあえずアイス族”となったようです。[グラフ2] 猛暑にアイスをよく食べた理由は、当然のことながら「昨年よりも暑く感じたから」(86.6%)や「手軽に涼むことができるから」(47.9%)と暑さ対策によるものですが、「価格が手頃」(39.1%)「おいしいアイスが増えた」(30.6%)というアイス自体の魅力も、アイスをよく食べるようになった理由です。[グラフ3]

■“とりあえずアイス族”は

寒くなっても週1回以上アイスを食べるアイスファン

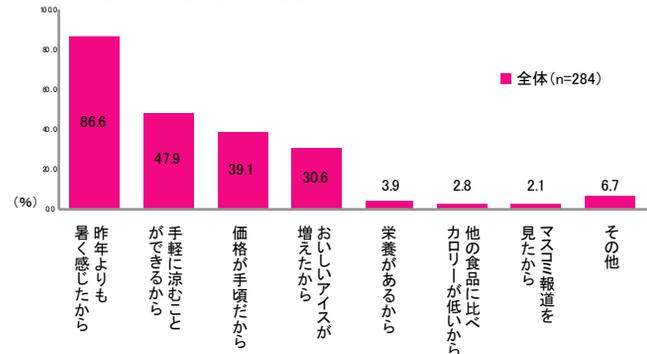
次に、2010年夏にアイスを食べる機会が増えた人に、夏と調査時点(11月)のアイスを食べる機会の変化を聞くと、猛暑の頃よりも「増えた」(22.9%)という人も2割を越え、「変わらない」(21.5%)人も含め4割以上が夏以降も継続してアイスを食べていることがわかります。通常、気温が下がってくると夏場に比べてアイスを食べる機会は少なくなりますが、この夏でアイスを食べる機会が増えた“とりあえずアイス族”は「寒くなってきてもアイス！」を実行中。[グラフ4]

また、彼らのアイスを食べる頻度は、「週1回以上」(52.5%)が半数を超え、全体の平均値(43.8%)より10ポイント近くも高くなっています。[グラフ5]

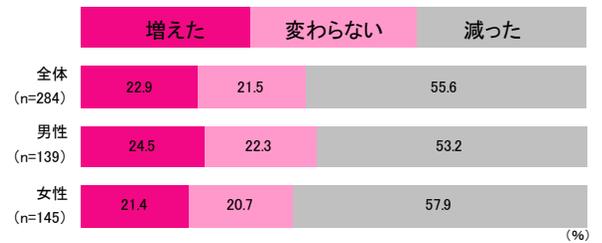
[グラフ2] 猛暑の影響で食べる機会が増えたお菓子や飲み物(嗜好品)TOP10(複数回答) (水・お茶除く)



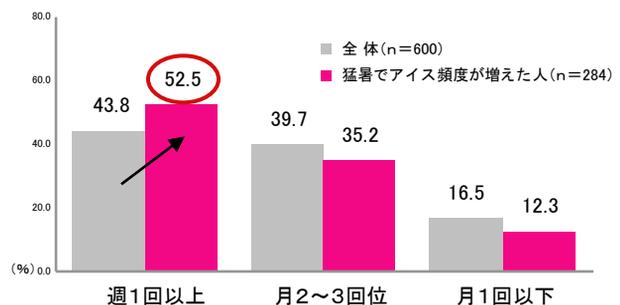
[グラフ3] アイスを食べる機会が増えた理由(複数回答) n=2010年夏にアイスを食べる機会が増えた人284名



[グラフ4] 夏と11月のアイスを食べる機会の変化 n=2010年夏にアイスを食べる機会が増えた人284名(男性139名 女性145名)



[グラフ5] アイスを食べる頻度比較



10代・20代女性は、“とりあえず朝からアイス族”

20代・30代男性は、ビールよりも“とりあえず湯上がりアイス族”

次に、世代別の“とりあえずアイス族”のアイスシーンを探ってみましょう。

まず若い世代でみると、10代・20代女性は他の世代に比べると、朝にアイスを食べる“とりあえず朝からアイス族”が多くなっています。[グラフ6]

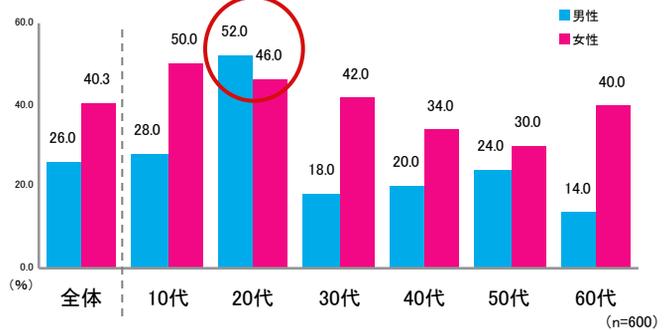
また、20代は男女ともに、アイスを「友人や知人、同僚」や「恋人」と一緒に食べたいという傾向が高く、アイスクリームは彼らにとってのコミュニケーションツールとなっているようです。[グラフ7][グラフ8]

20代・30代の男性をみると、お風呂の後に、ビールよりもアイス进行所望する“とりあえず湯上がりアイス族”が多く、40代以降男性の湯上がりビール族と対照的です。女性はアイス派が圧倒的ですが、唯一40代女性だけは湯上がりビール族の方が多く、草食男子と肉食女子を彷彿とさせる結果となっています。[グラフ9]

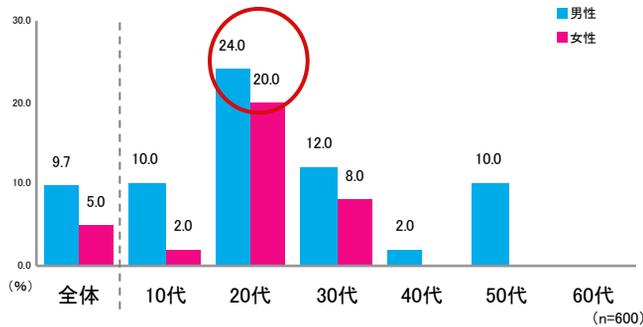
[グラフ6] 朝、アイスを食べる人(複数回答)



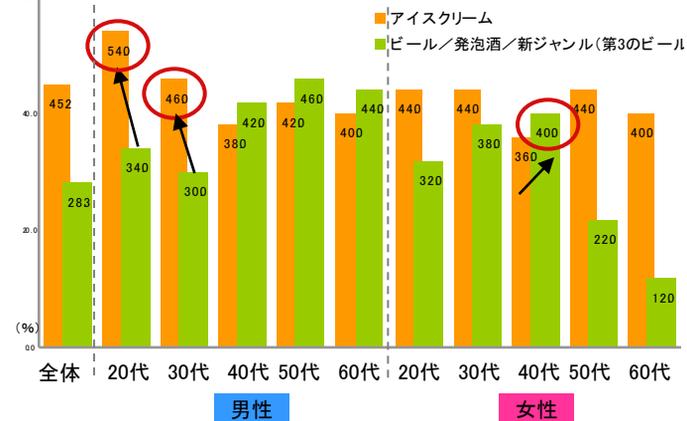
[グラフ7] 友人・知人・同僚とアイスを食べたい人(複数回答)



[グラフ8] 恋人とアイスを食べたい人(複数回答)



[グラフ9] お風呂上がりに食べたいもの(複数回答)



(n=500、男性・女性共に各年代n=50)



お酒の席、50代男性は「とりあえずビール」で始め、「とりあえずアイス」でめる 60代は運動のあとや体調が良くないときに、アイスを活用

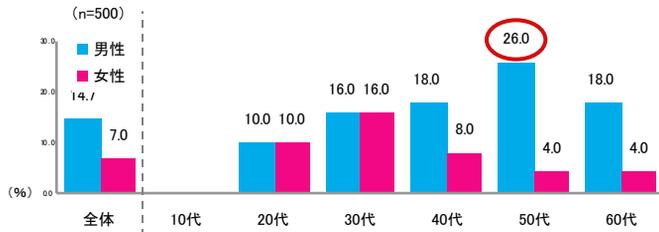
次に、50代・60代のオトナ世代の“とりあえずアイス族”のアイスシーンを探ってみます。

50代男性は他の世代に比べて「お酒を飲んだあと」(26.0%)にアイスを食べたくなる人が多く、とりあえずビールで始まった宴席を、“とりあえずアイス”でしめている様子が見えます。[グラフ10]

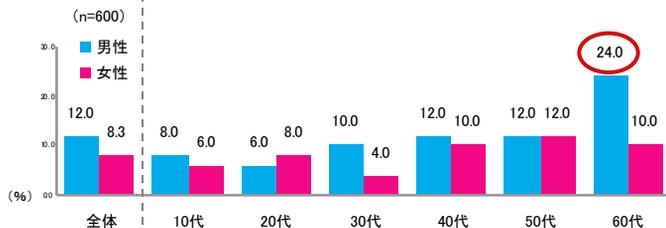
「運動のあと」にアイスを食べたくなるのは60代男性(24.0%)に多く、ほどよい甘さと冷たさを心身のリフレッシュに役立っているのでしょうか。[グラフ11]

一方、60代女性にとってのアイスは、「栄養が手軽に摂取」(10.0%)でき、「具合が悪いときに食べやすい」(30.0%)のものであり、栄養補給と機能性でアイスが活用されているようです。[グラフ12][グラフ13]

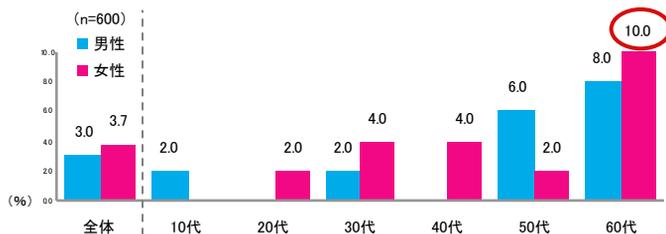
[グラフ10] お酒を飲んだあとにアイスを食べたい人(複数回答)



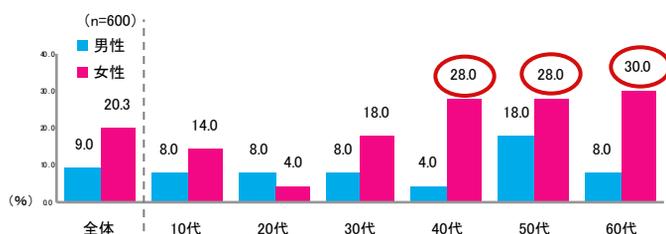
[グラフ11] 運動のあとにアイスを食べたい人(複数回答)



[グラフ12] アイスを食べる理由
「栄養が手軽に摂取できるから」(複数回答)



[グラフ13] アイスを食べる理由
「具合が悪くても食べやすいから」(複数回答)



ice cream column

オススメ! アイスの食べ方あれこれ編

アイスのオススメの食べ方を聞いたところ、以下のようなユニークな食べ方があげられました。日常のどんなシーンにもよく合うアイスですが、食べ方も自由自在。意外な組み合わせには新鮮なおいしさが、定番の組み合わせには予想以上のおいしさが期待できるアイスクリーム。「アイスプラスするだけで、おいしさもうれしさもランクアップしてくれる」そんな魅力が、“とりあえずアイス”となる所以かもしれません。

●アイス with ドリンク

- 「熱い日本茶をかけて」(男性53歳)
- 「紅茶に入れて」(女性35歳)
- 「ココアに浮かべて」(女性62歳)

●和アイス

- 「くずりにいれて」(女性49歳)
- 「どら焼きにはさむ」(女性63歳)
- 「信玄餅と一緒に」(女性28歳)

●ゆるアイス

- 「チンして少し溶かす」(男性29歳)
- 「少し練って」(男性56歳)

●ホットアイス

- 「焼きリンゴにそえて」(女性45歳)
- 「温めたスイートポテトと」(女性41歳)

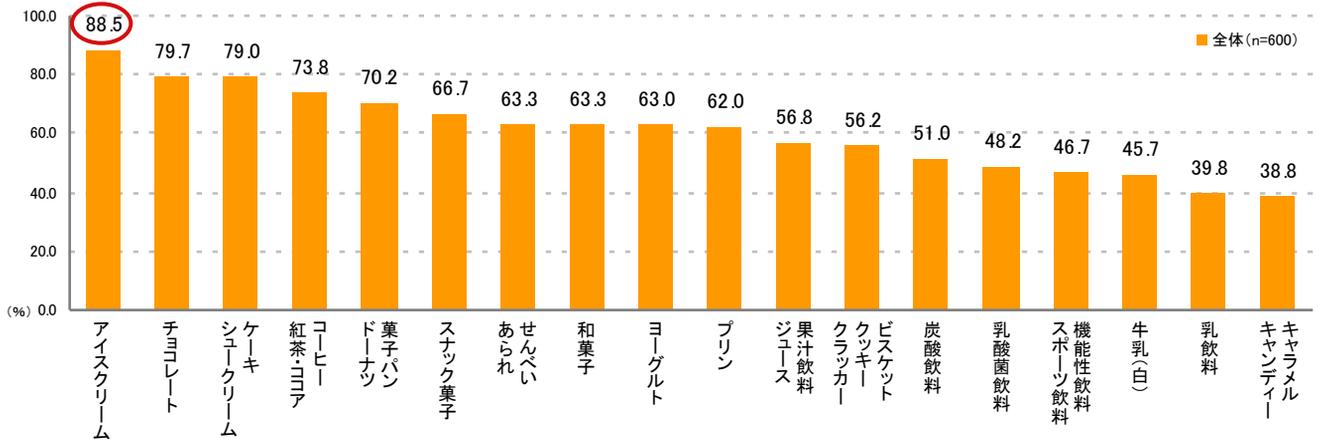
●ちょい足しアイス

- 「クラッカーやポテトチップスにのせて」(女性40歳)
- 「ラム酒やブランデーをかけて」(女性22歳)
- 「おせんべいをトッピング」(女性30歳)

キング・オブ・デザートは、今年もやっぱり「アイスクリーム」 好きなフレーバーは、定番「バニラ」が人気ナンバー1!

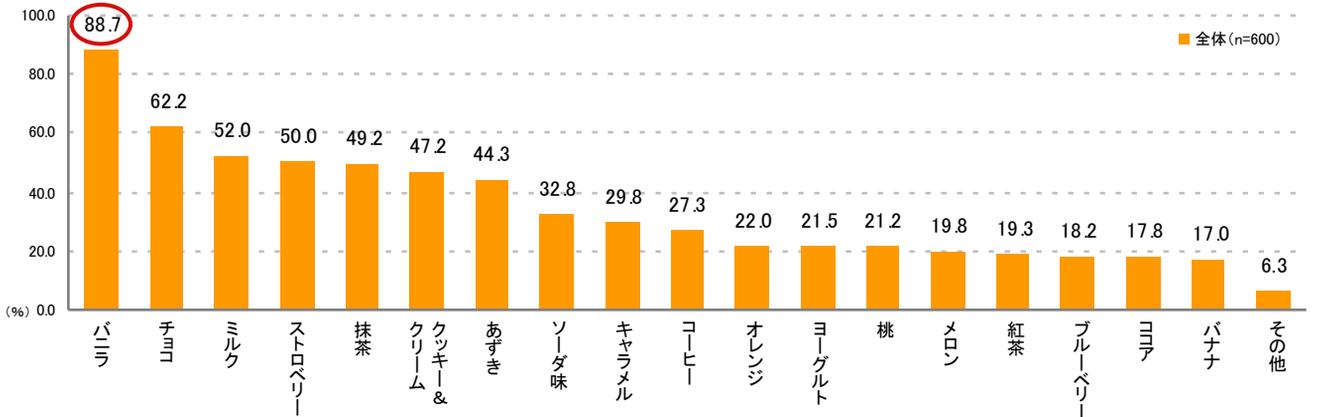
お菓子や飲み物を対象とした好きなデザート調査では、今回も「アイスクリーム」(88.5%)が人気ナンバー1に選ばれ、97年からこれまで、アイスクリームは不動の第1位に君臨するキング・オブ・デザートです。[Q1]好きなフレーバーでは「バニラ」(88.7%)が圧倒的で、続いて「チョコ」(62.2%)となっています。3位以降は「ミルク」(52.0%)、「ストロベリー」(50.0%)、「抹茶」(49.2%)が僅差で並んでいます。[Q2]

Q1.あなたが好きなデザート(お菓子・飲み物)は何ですか? (複数回答)



	「白書2010」ベスト5	「白書2009 Vol.2」ベスト5	「白書2009」ベスト5	「白書2008」ベスト5
1位	アイスクリーム 88.5%	アイスクリーム 89.0%	アイスクリーム 89.3%	アイスクリーム 87.6%
2位	チョコレート 79.7%	チョコレート 80.2%	チョコレート 76.2%	チョコレート 83.6%
3位	ケーキ・シュークリーム 79.0%	コーヒ・紅茶・ココア 77.3%	コーヒ・紅茶・ココア 76.0%	コーヒ・紅茶・ココア 76.0%
4位	コーヒ・紅茶・ココア 73.8%	ケーキ・シュークリーム 75.0%	ケーキ・シュークリーム 71.8%	スナック菓子 75.2%
5位	菓子パン・ドーナツ 70.2%	スナック菓子 69.7%	スナック菓子 66.8%	ケーキ・シュークリーム 73.0%
	2010年10月調査 (n=600名)	2009年10月調査 (n=600名)	2008年10月調査 (n=600名)	2008年2月調査 (n=500名)

Q2.あなたが好きなアイスクリームのフレーバーは何ですか? (複数回答)



	「白書2010」ベスト5	「白書2009 Vol.2」ベスト5	「白書2009」ベスト5	「白書2008」ベスト5
1位	バニラ 88.7%	バニラ 84.2%	バニラ 84.8%	バニラ 81.6%
2位	チョコ 62.2%	チョコ 61.5%	チョコ 59.2%	チョコ 61.8%
3位	ミルク 52.0%	抹茶 50.5%	抹茶 49.8%	抹茶 46.6%
4位	ストロベリー 50.0%	ミルク 44.7%	クッキー&クリーム 43.8%	クッキー&クリーム 42.4%
5位	抹茶 49.2%	ストロベリー 43.5%	あずき 43.5%	ミルク/ストロベリー 41.0%
	2010年10月調査 (n=600名)	2009年10月調査 (n=600名)	2008年10月調査 (n=600名)	2008年2月調査 (n=500名)

**アイスクリームを食べる頻度も買う頻度も、去年と比べ増加傾向に
1回の購入金額は350.2円と去年と比べ15.5円安**

アイスクリームを食べる頻度は「週1回以上」(43.8%)が最も多く、去年よりも全体的にアイス頻度が高く、特に女性の増加が目立ちます。[Q3]

また、購入頻度は「月に2~3回」(43.7%)が最も多く、去年と比べると男性の購入頻度が高くなっています。[Q4]

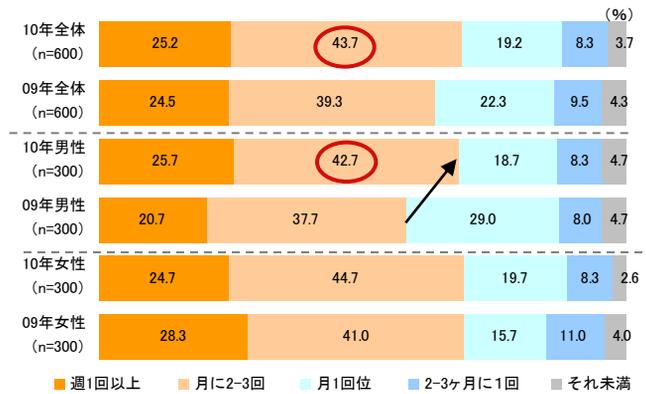
去年より食べる頻度・買う頻度ともに増加傾向ですが、1回の購入金額は前回365.7円に対し今回350.2円とややダウン(▲15.5円)しています。[Q5]

アイスの購入場所は「スーパー」(59.7%)が「コンビニ」(32.2%)が中心で、女性は男性よりもスーパー派が多い傾向があります。今年もこの傾向は変わりませんが(スーパー派 女性65.7% > 男性53.7%)、昨年、男性はスーパー派(46.7%)とコンビニ派(45.0%)が接戦でしたが、今年は男性のスーパー派が過半数を超え(53.7%)、コンビニ派(41.3%)と10ポイント以上の差を付けています。[Q6]

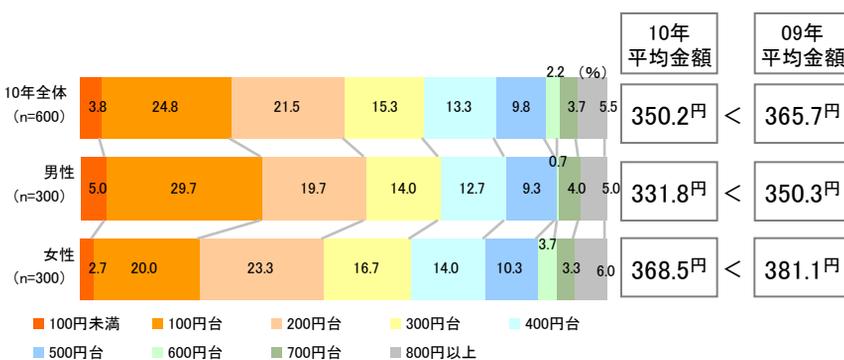
Q3.アイスクリームをどれぐらいの頻度で食べていますか?



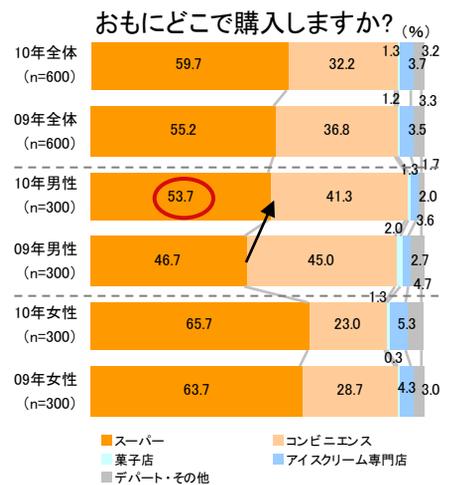
Q4.アイスクリームをどれぐらいの頻度で購入しますか?



Q5.1回に購入するアイスクリームの金額はいくら位ですか?



Q6.アイスクリームを



97.7%の高支持率、みんな大好きアイスクリーム!

おいしくて手軽! 冷たさ・甘さ・なめらかな食感が魅力のキング・オブ・デザートです

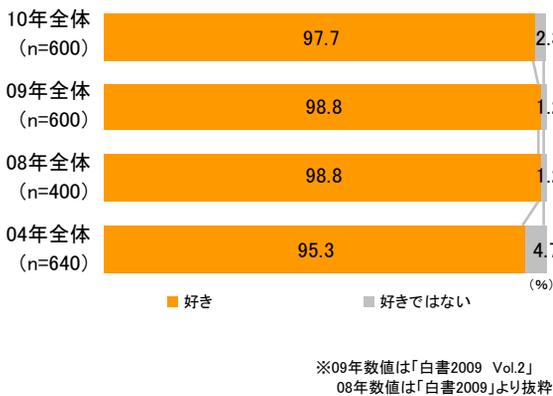
ほぼ全員が「好き」(97.7%)なアイスクリーム。ここ数年の調査結果を見てもほとんどすべての人が「好き」と答えています。[Q7]

その評価ポイントはなんといっても「おいしいこと」(84.3%)ですが、「手軽に食べやすいこと」(60.3%)や「手軽に買えること」(50.8%)など1年中どこでも手に入る手軽さもアイスの人気のポイントです。[Q8]

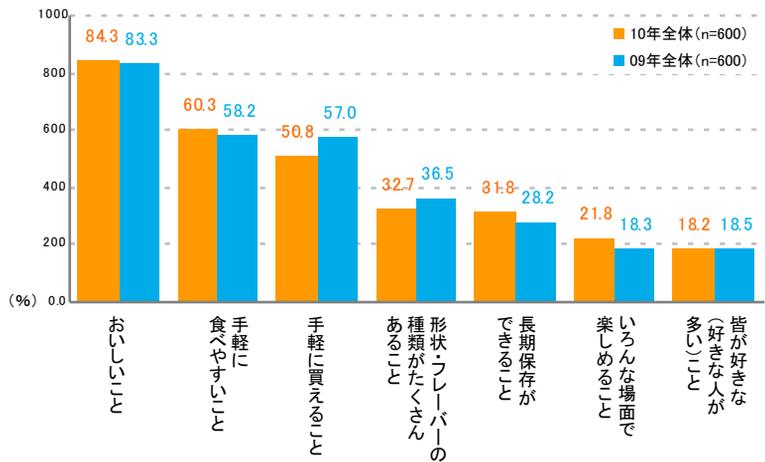
また、アイスクリームの味いでの評価ポイントは、「冷たさ」(75.3%)、「甘さ」(64.0%)、「なめらかさ」(43.0%)の順となり、冷たさ・甘さ・なめらかな食感がアイスの三大特長として認められています。[Q9]

また、アイスクリームの食べ方は約8割が「量よりも質」(78.0%)を重視しています。「『量』重視派」が若干増えた2009年に比べ、2010年は「『質』重視派」が盛り返しており、味へのこだわり派が増えていることが伺えます。[Q10]

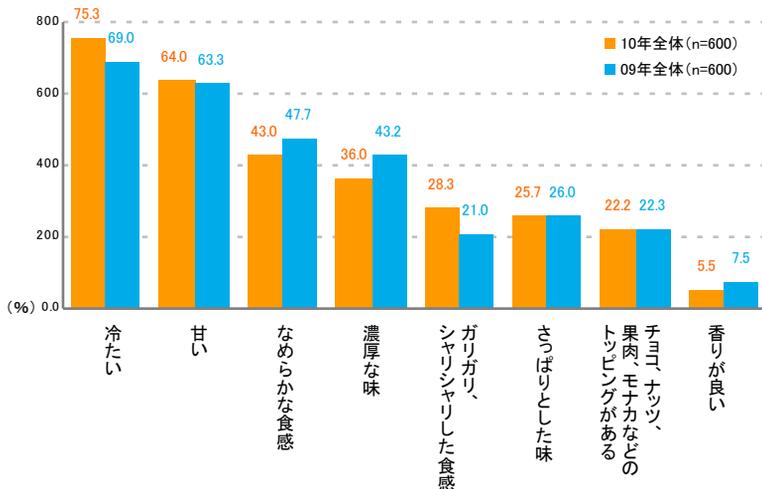
Q7.アイスクリームは好きですか?



Q8.アイスクリームの良いところは?
(各項目を1位-3位まで順位付け)



Q9.アイスクリームの良いところは? [味や食感について]
(各項目を1位-3位まで順位付け)



Q10.質と量のどちらを重視しますか?



※09年数値は「白書2009 Vol.2」
08年数値は「白書2009」より抜粋



- 名称 : 社団法人日本アイスクリーム協会
Japan Ice Cream Association (略称: JICA)
- 会長 : 江崎勝久(江崎グリコ株式会社代表取締役社長)
- 所在地 : 〒102-0073
東京都千代田区九段北1丁目14番19号(乳業会館6階)
TEL. 03-3264-3104
- 協会の目的 : アイスクリーム類及び氷菓の衛生・品質の向上、知識の普及と消費拡大

★「アイスクリームの日」とは

東京アイスクリーム協会(日本アイスクリーム協会の前身)では、アイスクリームの一層の消費拡大を願って、東京オリンピック開催年の昭和39年(1964年)に、アイスクリームのシーズンインとなる連休明けの5月9日に記念事業を開催し、あわせて諸施設へのアイスクリームのプレゼントをしました。以降、毎年5月9日を「アイスクリームの日」として、この日を中心に各地区で各種イベントと施設へのアイスクリームのプレゼントを実施しています。